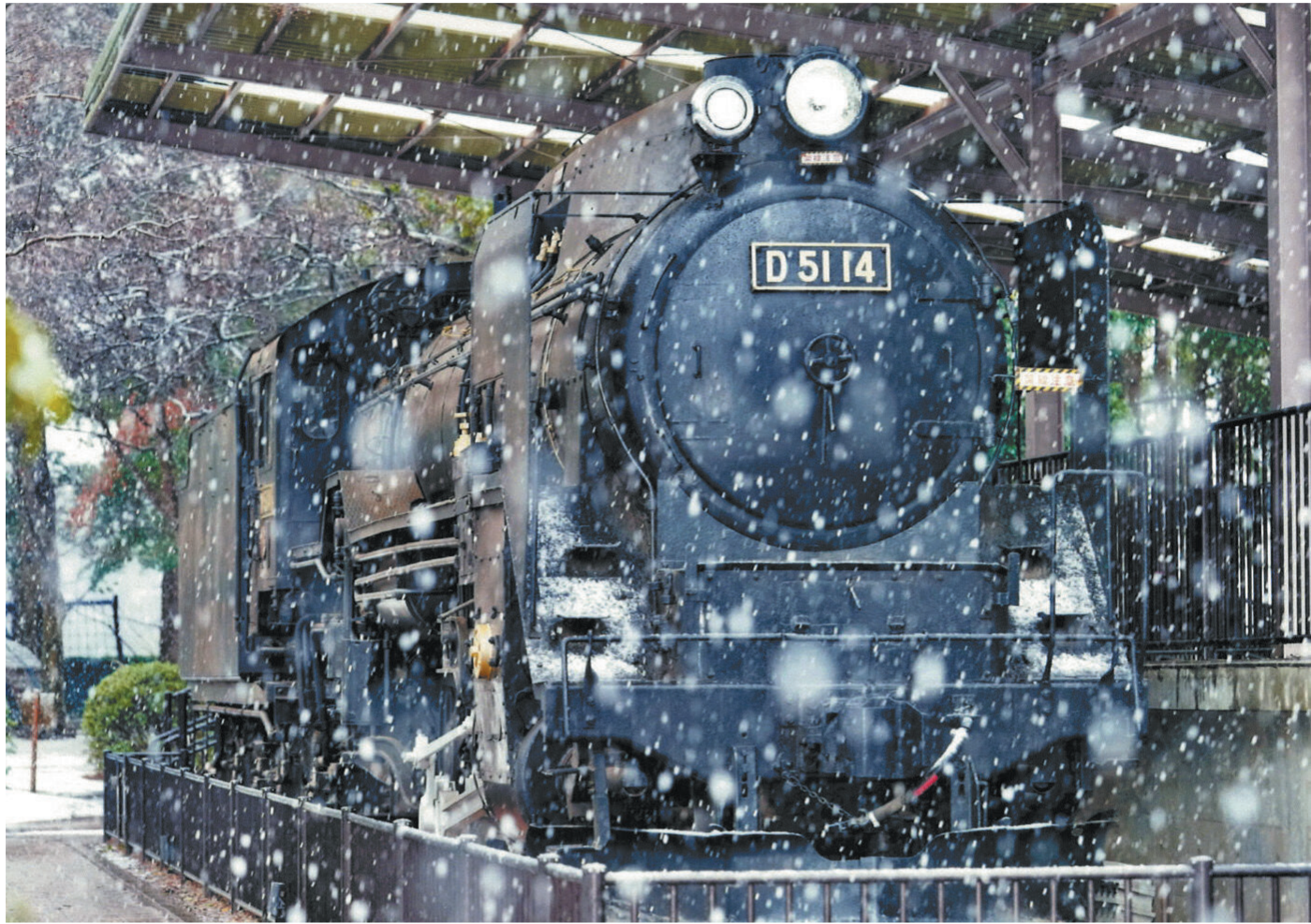


流山市議会だより

発行：流山市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
千葉県流山市平和台1-1-1 議会事務局内
電話04-7150-6099(直通)FAX 04-7150-2863
Email:gikai@city.nagareyama.chiba.jp

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の年4回発行です。 ホームページアドレス <https://www.nagareyamagikai.jp/>

第24回議会報告会初の ワールドカフェ方式で開催 市議会だより写真コンクール5月に作品を募集(5面参照)



写真コンクール入賞作品 遊佐 純一さん撮影の「ノスタルジア」撮影場所…流山市総合運動公園

撮影の背景 降りしきる雪の中、現役時代を思い出したかのように今にも走り出しそうな「蒸気機関車」を撮影しました。

令和6年第4回定例会概要

11月28日の開会日には、市長から「流山市職員の給与に関する条例及び流山市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を含む29件の議案が提出されました。

その後、提案理由の説明が行われたほか、3件の報告がありました。

11月28日の開会日には、市長から「流山市職員の給与に関する条例及び流山市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を含む29件の議案が提出されました。

その後、提案理由の説明が行われたほか、3件の報告がありました。

（要旨8面）
市政に関する一般質問は、12月3日から12月6日までの4日間にわたり、21人の議員が登壇し行われました。

（要旨5・8面）
12月6日の一般質問終了後、議案29件、陳情3件が各常任委員会に付託されました。

（要旨7面）
12月18日の最終日には、各常任委員会の委員長報告に対する質疑、議案に対する討論、採決が行われました。

議員からは「『婚姻の平等』法制化に向けた準備手を求める意見書について」を含む4件の発議が提出されました。

（要旨2・5面）
12月6日の一般質問終了後、議案29件、陳情3件が各常任委員会に付託されました。

（要旨7面）
12月18日の最終日には、各常任委員会の委員長報告に対する質疑、議案に対する討論、採決が行われました。

（要旨5・8面）
12月6日の一般質問終了後、議案29件、陳情3件が各常任委員会に付託されました。

（要旨7面）
12月18日の最終日には、各常任委員会の委員長報告に対する質疑、議案に対する討論、採決が行われました。

クローズアップ

議員研修会を開催しました

流山市議会では、毎年専門家をお招きし、「議員研修会」を開催しています。これは、流山市議会基本条例第19条の規定に基づき、議員の資質・政策形成・立案能力の向上を図るために実施しているものです。

今年度の議員研修会は、令和7年1月31日に議場において開催しました。事前にお申し込みいただいた市民の皆さまや市職員の方々にもご参加いただき、ありがとうございました。

午前中は、神戸大学名誉教授の室崎益輝氏に、「能登半島地震の教訓に学び、自治体の防災計画にどうつなぐのか」をテーマとして講演いただきました。

室崎氏からは、能登半島地震は内陸地震としては最大級で前例のない地震であったことや、生活文化、環境などが多様化する中、被災状況も形態も多様化してきており、それらに 대응する自治体防災への進化が必要であることが述べられました。

午後からは、認定NPO法人キッズドア理事の渡辺氏から、「日本のひとり親世帯の相対的貧困は先進国で1位であり、子どもの貧困は自己責任ではなく社会構造の欠陥と指摘があった一方、学習支援により自立する力を付けることで、貧困の連鎖を切ることが可能とご教授いただきました。

渡辺氏からは、日本のひとり親世帯の相対的貧困は先進国で1位であり、子どもの貧困は自己責任ではなく社会構造の欠陥と指摘があった一方、学習支援により自立する力を付けることで、貧困の連鎖を切ることが可能とご教授いただきました。

どちらのご講演も充実した内容であり、有意義な研修会となりました。

室崎講師、渡辺講師の録画
中継は、市議会ホームページの「議会中継」でご覧いただけます。



室崎講師



渡辺講師



義援金目録を金七能登町議会議長に手渡す坂巻議長（左から4人目）と各会派代表者等

能登町へ 災害義援金を贈呈

令和6年10月27日、市総合運動公園で開催された流山市民まつりの会場で、姉妹都市・石川県能登町の町議会へ流山市議会から災害義援金を贈呈しました。

災害復興で多忙を極める中、能登町議会議長を代表して金七祐太郎議長が時間を割いて市民まつりにおいでくださいました。

流山市議会からは、正副議長と各会派代表者が集まり、議員各位からの義援金目録を金七議長に手渡すと、「流山の皆さんの温かいお気持ち、心より御礼申し上げます。能登の子どもたちも大変感謝しています」とお礼がありました。

元日の震災からの復旧の途上、9月21日の大雨による水害や土砂崩れなど、自然の猛威は容赦なく襲い掛かりました。能登町が以前の姿を取り戻すには、長い月日と多くの資金が必要です。坂巻議長は「復興に時間がかかるとは思いますが、流山市議会は引き続きさまざまな方たちで支援していきます」と語りました。